

日中関係 -緊張緩和 に向けた日本の対応-

阿古 智子（東京大学大学院総合文化研究科教授）

高市首相の「存立危機事態」に関する答弁を発端に、顕在化した 日中の言論空間の問題

- 高市首相がどのような経緯で答弁を行ったのか、その内容が妥当であったのか、あるいは、そもそもどのような条件が「存立危機事態」に該当するのかなど、日本国内では活発な議論
→日本の言論空間の両極化は進む一方
→左と右に寄る人々、双方ともに「反中」や「親中」といった単純な構図に自らを収めがち。互いに自らの正当性を主張し、相手を攻撃し合うことに終始してしまい、いつまでも建設的な議論が行えない
- 現在の中国政府は日本での議論の意義を理解するはずがなく、厳しい言論統制下で中国国内の多様な議論を遮断している
- 中国の動きを捉える上で重要な情報、中国政府とその関係機関による言論統制の特徴、彼らが作り出すナラティブ（語り）を把握する必要がある

日中関係の 緊張緩和の ためには？

- 中国政府のナラティブ（語り）には意図がある。それに煽られると日本は国益を損なう
- 日本にとっての正論は現在の中国政府には通じず、日本は中国のナラティブを覆すナラティブを生み出す必要がある
 - (1) 軍国主義復活を覆すナラティブ
 - (2) 民主主義のナラティブ
 - (3) 自主独立のナラティブ

景気の悪化で急速に 不安定化する中国社会

一部では、人間性の破壊が深刻なレベルに達している

- 中国の言論・思想の統制と経済状況の悪化は相当深刻なレベルにまで達している
- 監視や検閲は隅々にまで及び、5-6人で社会問題について読書会を組織するだけでも、警察が尋問にやってくる。バーやカフェ、小さな活動拠点で行われる貧困問題、環境保護、労働問題、フェミニズム、同性愛などを扱う活動にも警察は目を光させており、組織力のある人物は徹底的にマークされる
- 厳しいゼロコロナ政策や言論統制に抵抗したため中国で逮捕され、釈放された後に海外に逃れている若者たち
- 異郷での生活に順応できず、うつ病を患う者もいるが、互いに助け合って生活している。故郷に戻れないまま不安定な生活を送る中で、自ら命を絶つ者もいる
- 現在日本にも、教会関係者、人権派弁護士、調査報道記者、リベラル知識人、社会派の芸術家など、故郷に戻ることのできない中国人たちが暮らしている

- 生産性の低下（人口、知識）
- 深刻な汚職と腐敗
- 信頼構築の欠如
- 人間関係の破壊

我們是最後一代，謝謝你。

We Are The Last Generation

Thank You.

昨今の日本で の中華圏から の移住者増加 の背景

- 中国：少数民族、性的マイノリティ、知識人や活動家への弾圧、ゼロコロナ政策を通してさらに言論統制・監視体制を強化
- 香港：国家安全維持法の制定で政治家、知識人、活動家、ジャーナリストの逮捕、人権団体や市民団体の閉鎖、通報制度の導入
- 台湾：中国との関係が緊迫する中、人権活動家などの支援は中国を刺激するため控える傾向が強まっている
- 中国も香港も景気の悪化で企業倒産の増加、失業率上昇、不動産価格下落、財政悪化が顕著に。欧米諸国への移住はコストがかかる。円安が進む日本は不動産も物価も学費も安い
- 新しいビジネスチャンスや仕事を求めようという人、語学学校や大学・大学院に入り人生のシフトチェンジをしようという人、迫害から逃れるために一時的・長期的に母国を離れる人、子どもの教育のために移り住む人なども

日本の華人 言論空間・ 公共空間の 発展

- 共に考えたい、議論したい、表現したい
- 増加する華人の書店、活動スペース、カフェ、ライブハウス・・
- 公共知識人の講義 東京大学は香港中文大学に取って代わった？
- ドキュメンタリー制作＆上映
- 失われつつある民間の歴史の回復、記憶を取り戻すプロジェクト

東京大学で 行われた講演会 ほとんどの参加者が華人

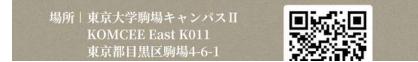
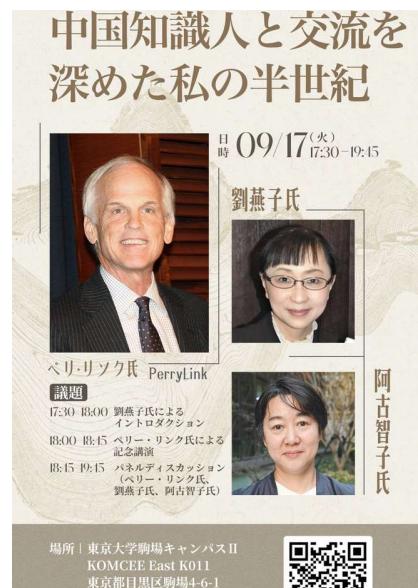
日本社会中的性别：
日本女性地位低下之探究
(日本社会におけるジェンダー：
日本女性はなぜ社会地位が低いのか?)



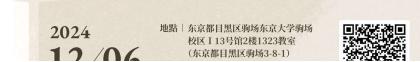
2024.2.13-18:30
東京都目黒区駒場3丁目8-1



掃
碼
報
名



掃
碼
報
名



掃
碼
報
名



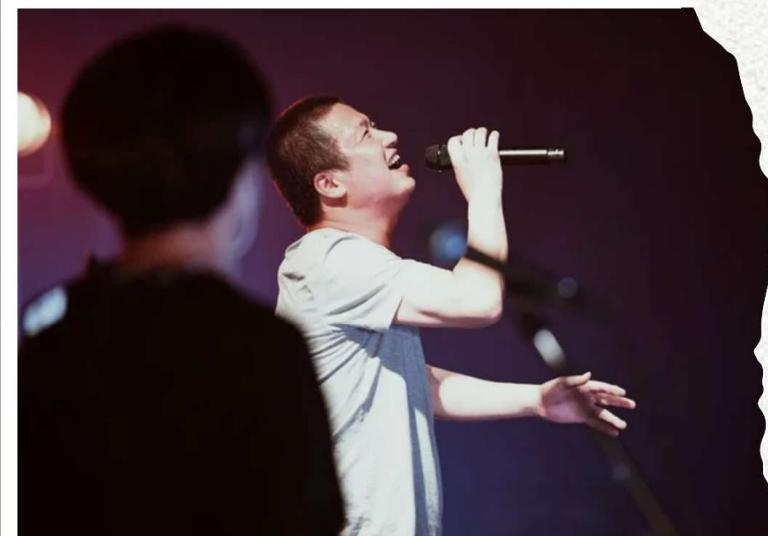
会場は日本なのに...中国国内“ライブ禁
ロック歌手の歌を聞くためだけに多数
人来日し涙 日本人が知らない“中国”

372



5/31(木)

FNNプライム



FNNプライムオンライン

4月下旬から約10日間かけて、あるロック歌手
ツアーが日本全国5都市で行われた。全会場で
ケットが完売し、1万人もの観客が涙を流し熱狂
したが、コンサート会場にいた客の大半は中国
だった。しかもわざわざこのコンサートを見る
めだけに来日した人も多い。彼らはなぜ、多く

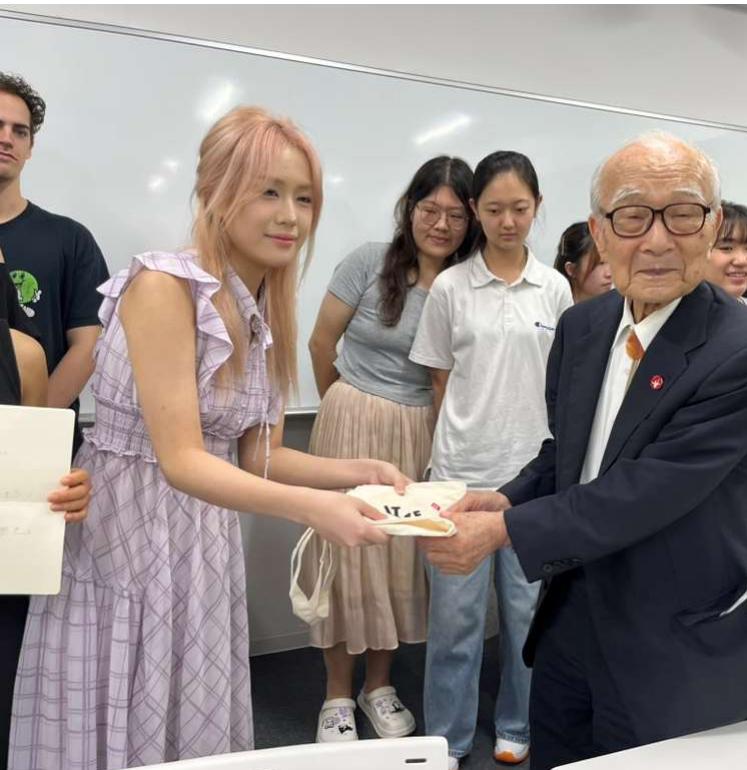
自由を求めて日本に来る 人々

- 中国で禁止されている音楽や映画、トークショーが日本で開催され、日本に旅行する人が増えている
- 「自由経済」 Freedom economy?

戦争のリスクを 下げるために

集合的記憶と
アイデンティティの分析
立ち位置の異なる人との
コミュニケーション

- 中国：大躍進・反右派闘争－文化大革命世代／天安門事件世代／コロナ・白紙運動世代／フェミニズムLGBTQ+ セクシュアルマイノリティ
- 香港：雨傘運動から逃亡犯条例改正反対運動の世代／運動後の政治的抑鬱
- 台湾：「投降か、抵抗か」ではない多様性・主体性を追求する若い世代
- 日本：中立性⇒政治的タブー、批判的思考の欠如、自己規制型の民主主義
 - * 社会階層・世代間の交流／連帯／断裂
 - * 当事者が亡くなっていく→第二世代、第三世代 新たに生み出される言葉、記憶 post-memory
 - * あらゆる近代国家は何らかの方法で、集団的記憶を発明し、形成し、安定化させることで、その政治システムの正当性をサポートし、社会的結束と帰属意識を強化しようしてきた (Hobsbawm and Ranger, 2012)
 - 記憶は選択的に促進され、忘れられる



東京で可能になった中国、台湾、香港、日本の若者の交流

戦後80年 戦争の記憶に関する ワークショップ in Tokyo

緊張する両岸関係の中、戦争記憶の継承と文化交流を展開する金門島と澎湖島の若者たち

社会運動のトラウマを体験し、異なる歴史を学んだ中国本土からの留学生から寄せられた質問に、93歳の被爆者でノーベル平和賞受賞者が答える

政治的トラウマを抱えながらも公共空間の構築に奮闘する在日中国人移住者たち

戦争や社会運動の記憶を語り継ごうとする東アジアの若者たちに日本の若者たちが関心を持ち始める

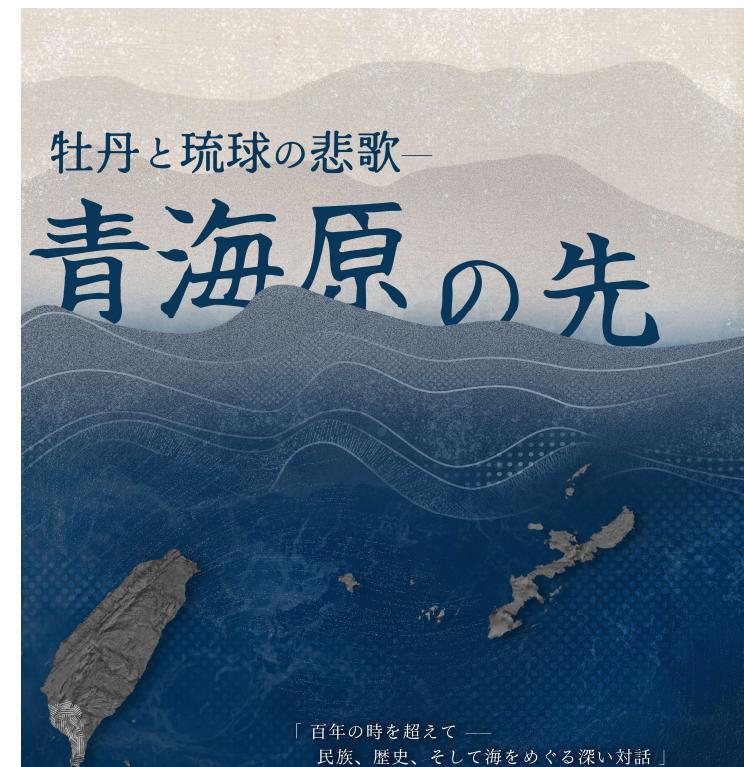




日本植民地主義の歴史 牡丹社事件・台湾出兵

「島から島へ」

- 加害と被害の複雑な様相日本兵として南洋に出兵したマレーシア系台湾人の歴史
- 中国大陸、台湾の学生のディスカッション



台湾・牡丹社事件を描くドキュメンタリー | 東京初上映

2025/6/29 SUN. 14:00~17:00

東京大学 駒場キャンパス KOMCEE East K011

上映後トークセッション

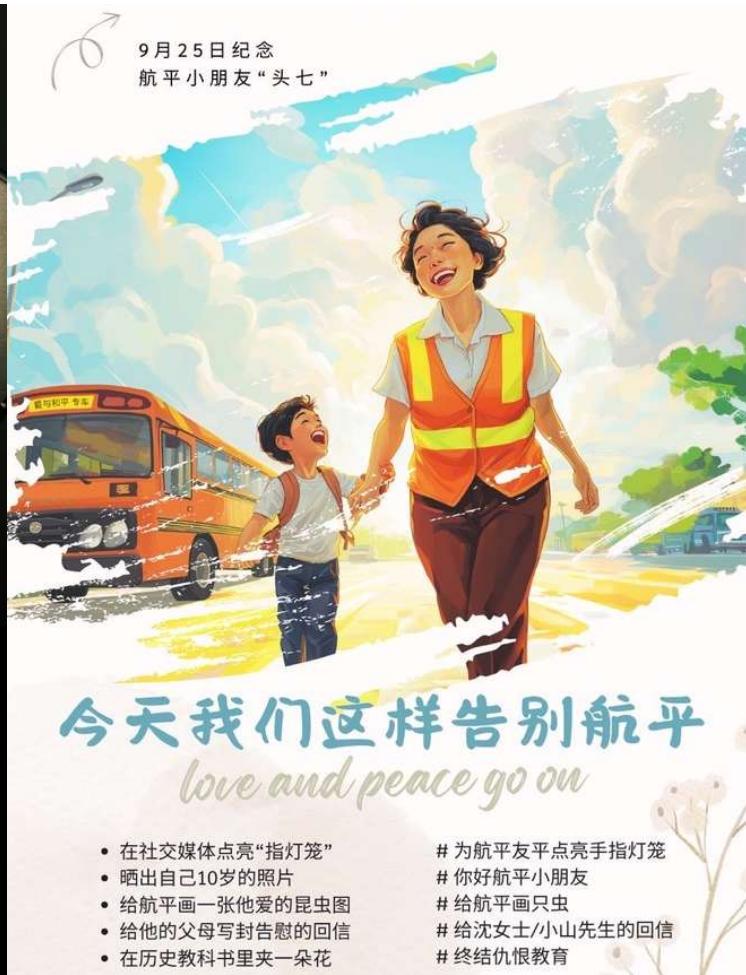
監督 | 胡皓翔 (ション・フー)
東京大学 教授 | 阿古智子 (あこ・ともこ)
ライター、編集者 | 平野久美子



#航向
爱与和平



无论你来自何方、身处何地，
把手指放在手机闪光灯上，
点亮一盏手指灯笼，
记住TA的名字与遭遇，
拒绝仇恨、航向爱与和平。



デジタル灯籠 ヘイトクライム反対キャンペーン

中国のソーシャルメディアは3日でブロックされた

今天 17:09
群发失败 ✓



今天 17:00
群发失败



- 此内容因违规无法查看, 请前往草稿箱修改后重试



李思磐   

一个有意义的倡议。拥抱和平，终结仇恨，为我们自己，和未来的世代。#航向爱与和平 #为航平友友点亮手指灯笼 #给航平画只虫 #终结仇恨教育



转发 0 评论 0

先先 64

権威主義国・警察
国家の見えない敵

恐怖

世代・空間を超えて共苦・共感する
政治的抑鬱

デジタルが
リアルになる
人間らしさを取り戻す